

愛知県「基幹的広域防災拠点」に係る

周辺道路計画説明会

愛知県 防災安全局 防災拠点推進室
尾張建設事務所 道路整備課
豊山町 産業建設部 防災拠点推進室

◆本日の説明内容

- 1 愛知県「基幹的広域防災拠点」
概要について
- 2 周辺道路計画について

● 1 愛知県「基幹的広域防災拠点」概要について

◆ 愛知県「基幹的広域防災拠点」

- 1) 計画の概要
- 2) 整備計画地
- 3) レイアウト(規模、機能等)
- 4) 大山川洪水調節池計画概要(河川)

1)計画の概要

【愛知県】南海トラフ地震の脅威

○M8～9地震の今後30年以内の発生確率は70～80%

＜愛知県の被害予測調査(平成26年5月公表)＞

○人的被害:死者 約29,000人

○住家被害:全壊 約382,000棟

○被害額:約17兆円

「県土全体の災害対応力」の強化が急務

【出展】愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(平成26年5月)
人的、住家被害は最大クラスを想定

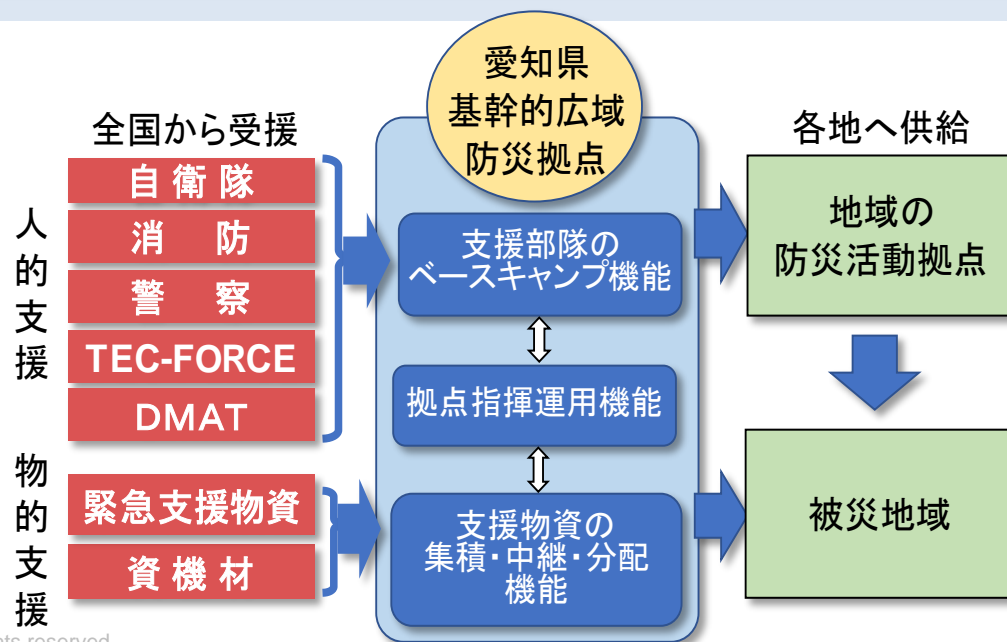
1) 計画の概要

南海トラフ地震・スーパー伊勢湾台風等広域かつ甚大な災害では、

全国から人員・物資等の支援を受け入れ、被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する後方支援が必要



県内130箇所の防災活動拠点の後方支援にあたる
「基幹的広域防災拠点」を整備し、
県内全域の災害応急体制を確保



2)整備計画地

基幹的広域防災拠点の位置

位置選定の条件

- 1.国の計画において、「大規模な広域防災拠点」に指定されている県営名古屋空港に隣接
- 2.高速道路、空港とのダブルアクセスが可能
- 3.地震時の液状化リスク等の災害リスクが低い



整備計画地を
名古屋空港北西部「豊山町青山地区」に選定。

3)レイアウト(規模)

基幹的広域防災拠点エリア

規模の条件

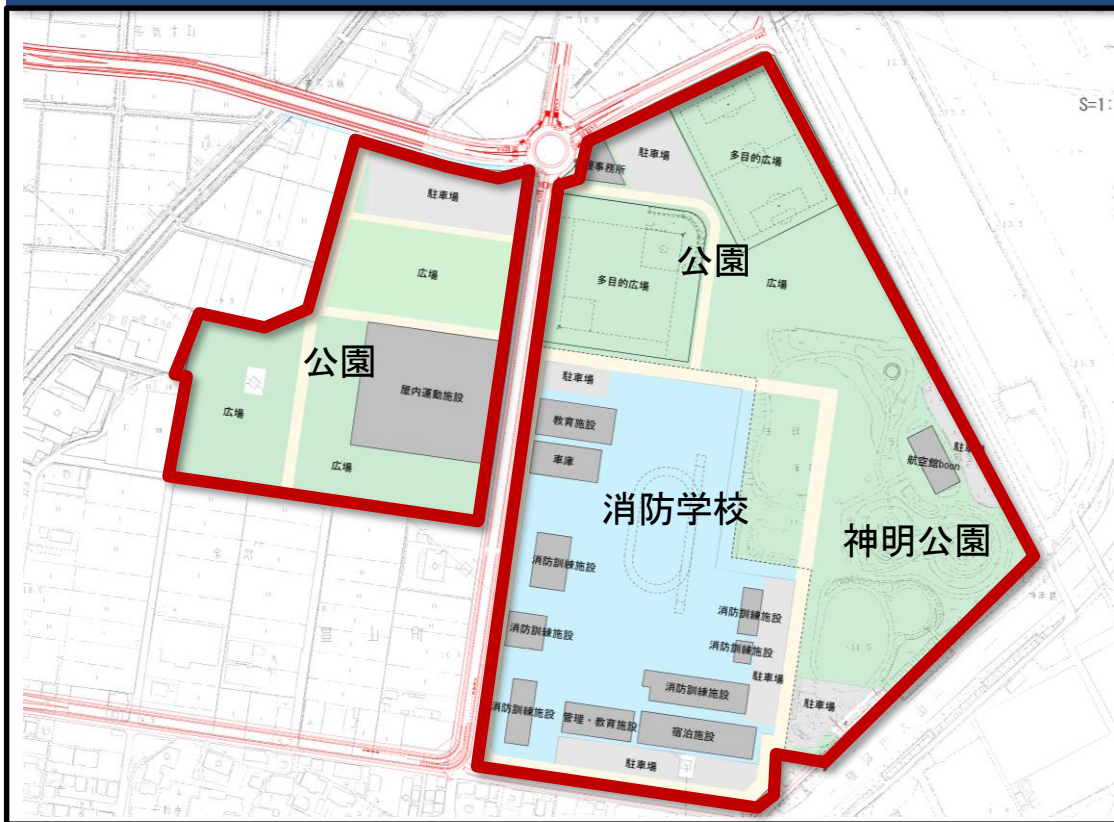
・国の計画に基づき、愛知県全域を後方支援できる規模を確保。

- 施設規模(日あたり最大)
 - 活動要員
約6,500(人)
 - 支援物資
約31,000(パレット)
 - 車両
約3,400(台)



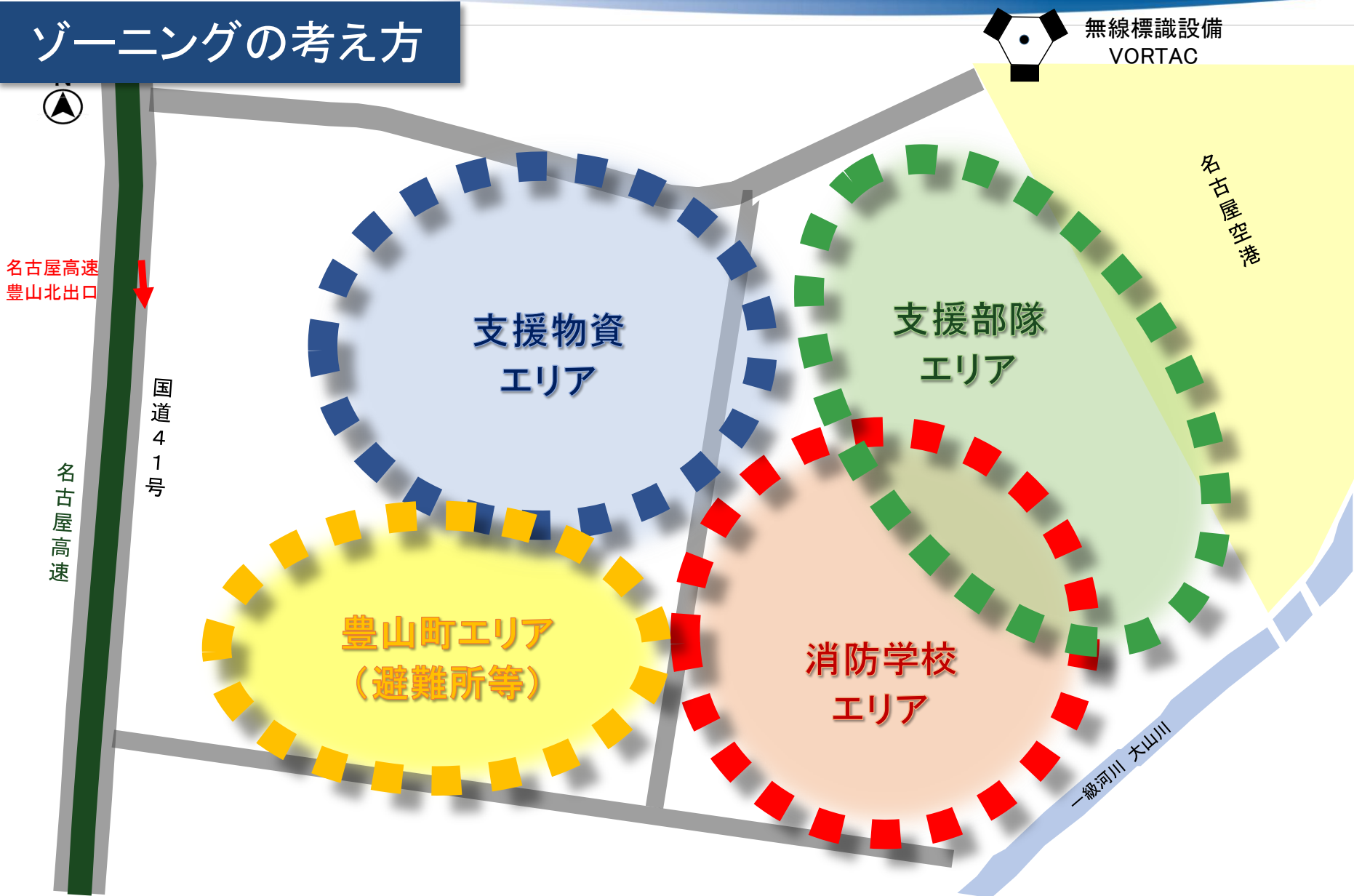
整備面積を約19.2ha(万㎡)で計画

基幹的広域防災拠点エリア



3)レイアウト(ゾーニング)

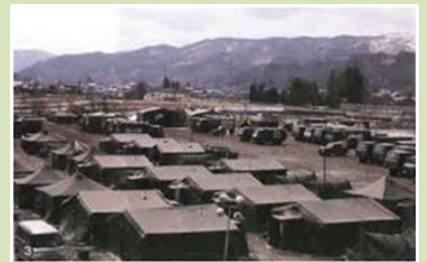
ゾーニングの考え方



3) 拠点レイアウト(災害時:各エリア機能)



- ・支援物資中継、分配
- ・県備蓄 物資保管
- ・NPO、ボラ活動支援



- ・支援部隊のベースキャンプ、後方支援



- ・拠点指揮本部
- ・広域医療搬送
- ・DMAT後方支援
- ・名古屋空港と相互連絡

県内130か所の防災活動拠点の後方支援を実施し、県内全域の災害応急体制を確保

3)拠点レイアウト(平常時:各エリア機能)



- ・屋内運動施設
- ・イベント会場
- ・防災ビジネス
- ・スタートアップ



「備える!中日サバイバルキャンプ」より
提供:(株)中日新聞社

- ・多目的広場
- ・防災サバイバル
キャンプ



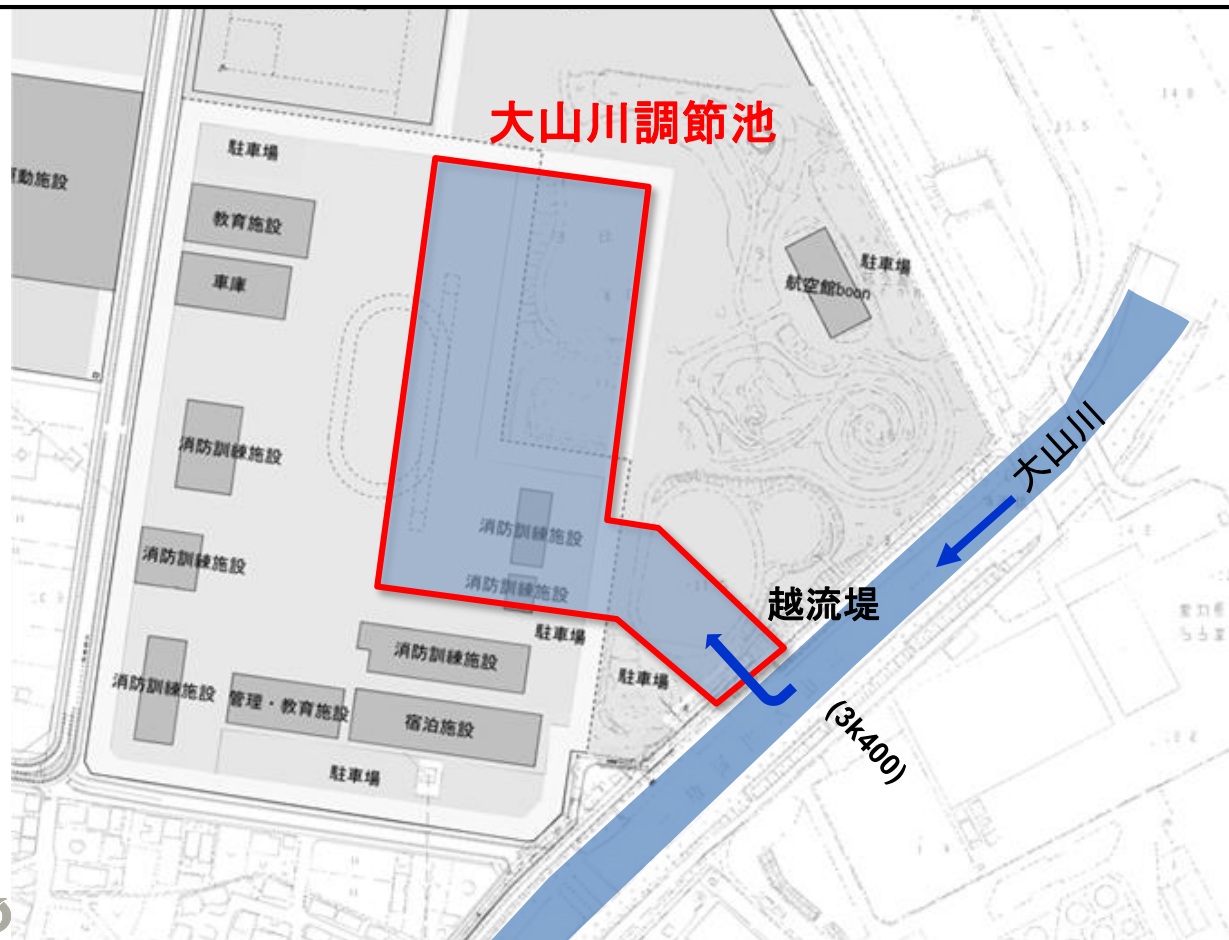
- ・消防教育
- ・防災教育
- ・人材育成

エリアの一体的な活用により、
平時利用の活性化・防災力の向上を図る。

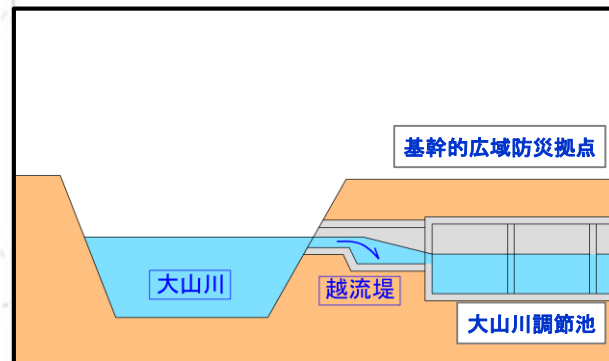
4)大山川洪水調節池計画概要(河川事業)

大山川調節池(基幹的広域防災拠点の地下に設置)

- ◆目的:大山川の洪水の一部を約 $22\text{m}^3/\text{s}$ カットし、洪水流量を低減することで、大山川の洪水(整備計画流量 $360\text{m}^3/\text{s}$)を安全に流下させる。
- ◆施設概要:洪水調節容量:約 $5.6\text{万}\text{m}^3$ 、面積:約 1.8ha 、洪水調節流量: $22\text{m}^3/\text{s}$



◆断面イメージ(3k400付近)



◆調節池イメージ

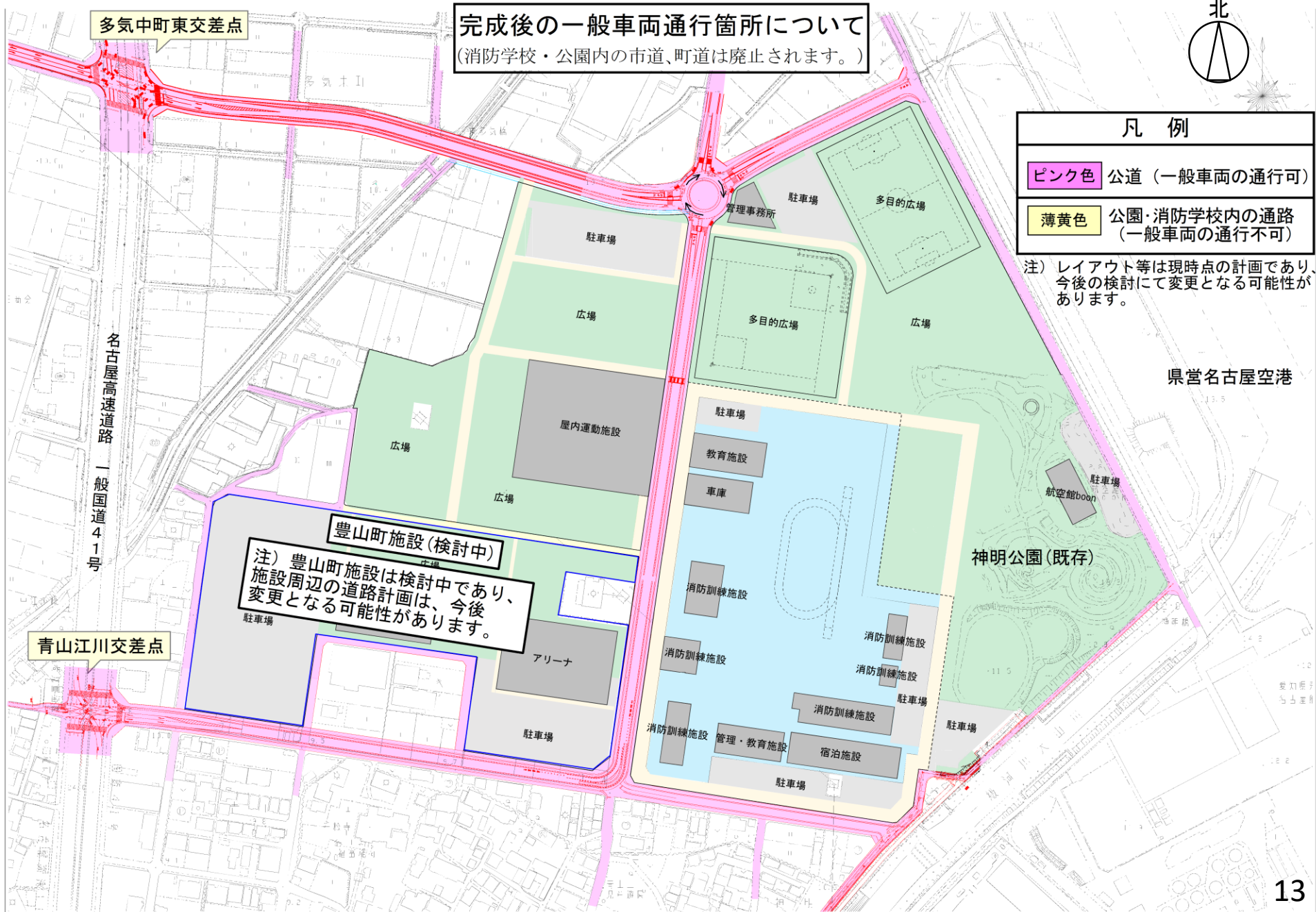


●2 周辺道路計画について

◆ 周辺道路計画

- 1) 全体道路計画
- 2) 道路の断面構成について
- 3) 県道 小牧岩倉一宮線・交差点計画
- 4) 県道 春日小牧線・交差点計画
- 5) 豊山町道117号線計画
- 6) 無電柱化について
- 7) 歩道形式及び乗り入れについて
- 8) 今後の事業スケジュール

1) 全体道路計画



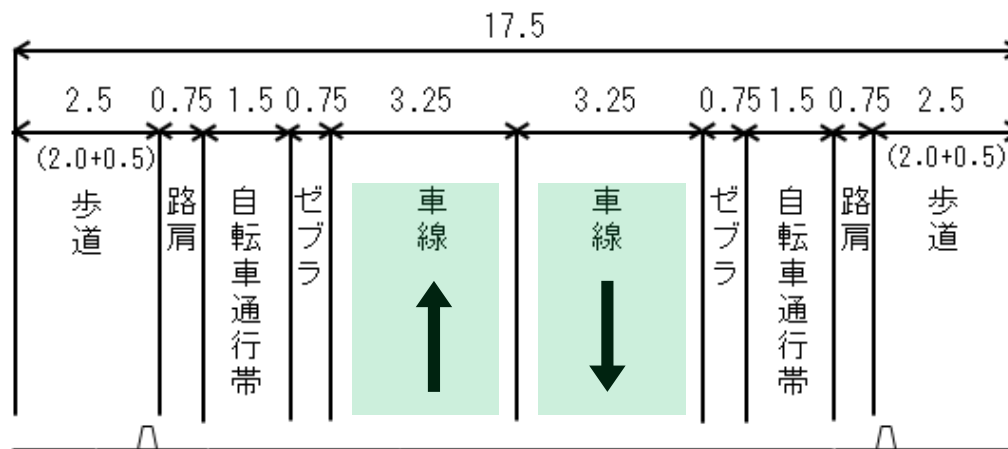
1) 全体道路計画



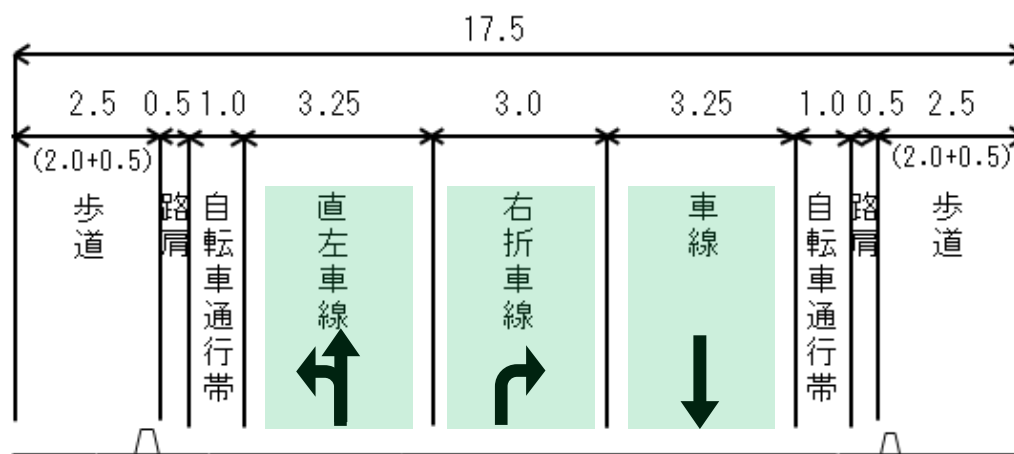
2)断面構成について(①、②県道)

◆ 断面構成

一般部(単位:m)



国道41号との交差点部(単位:m)

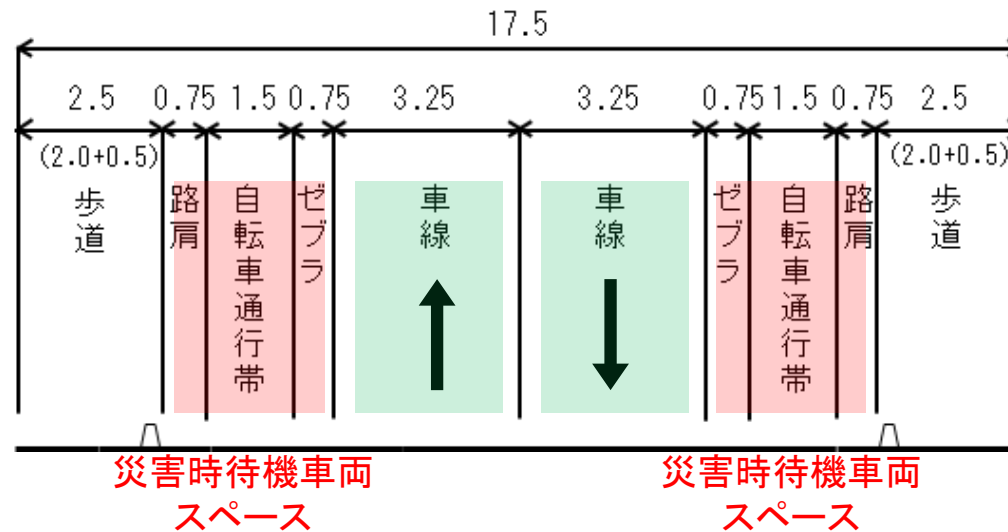


2)断面構成について(①、②県道)

◆ 断面構成

災害時

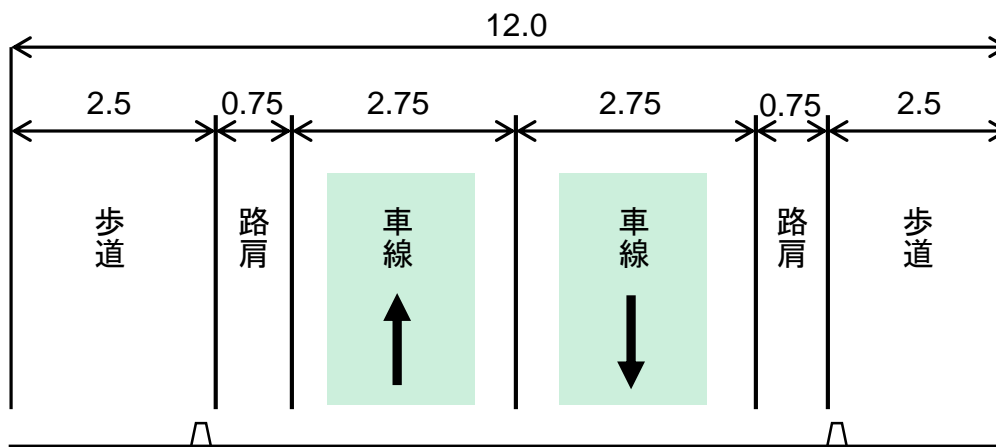
一般部(単位:m)



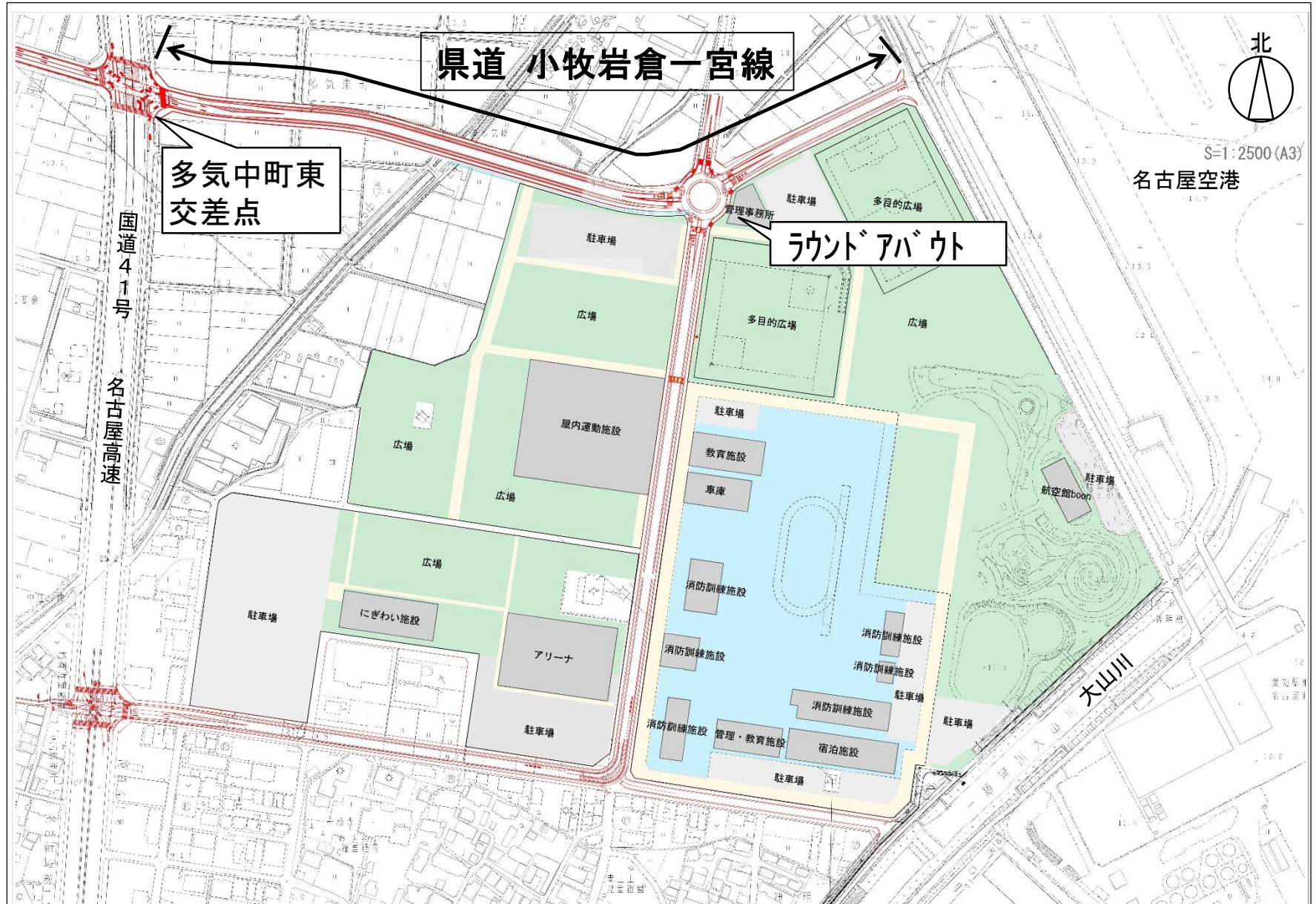
2)断面構成について(③豊山町道117号)

◆ 断面構成

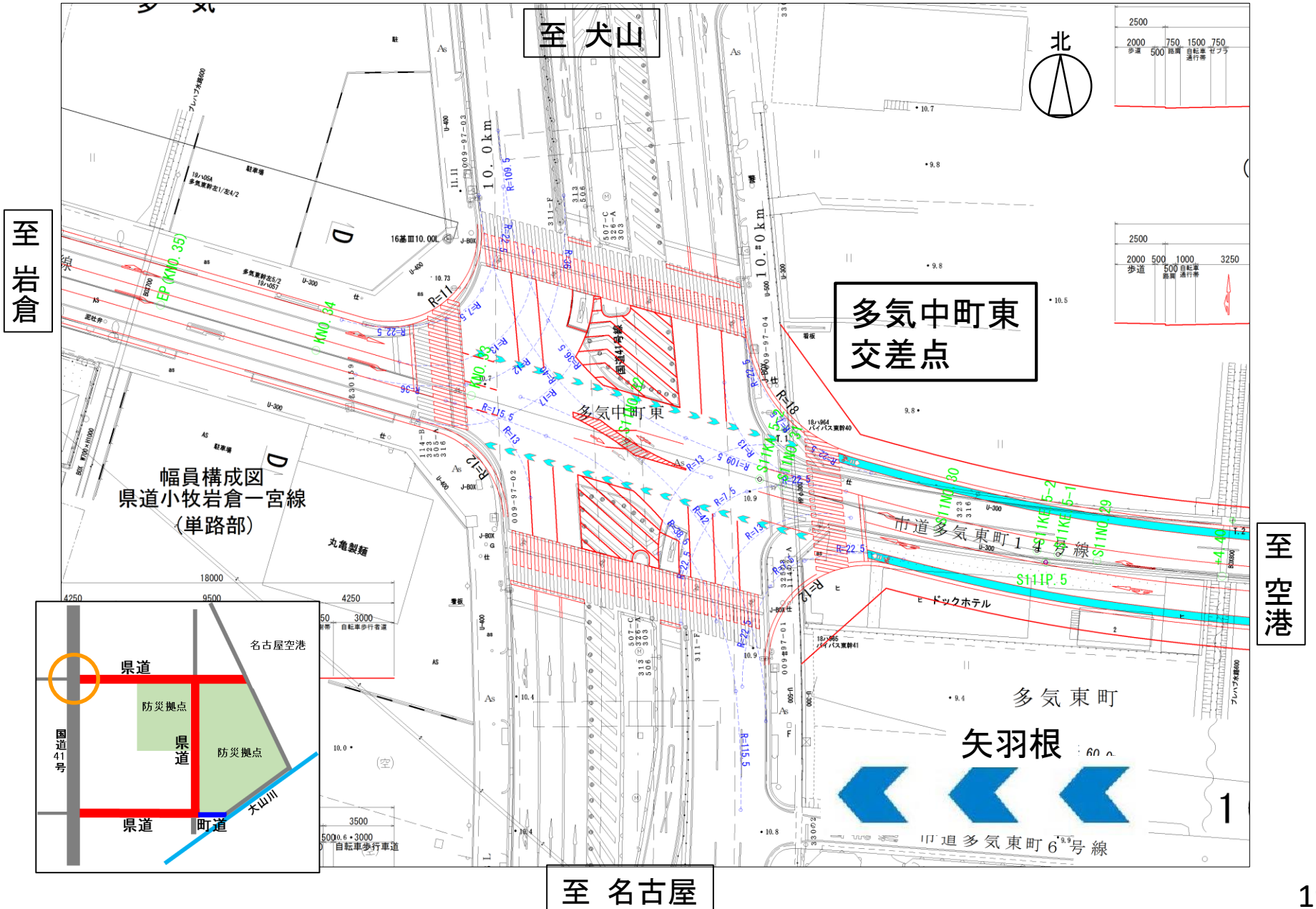
一般部・交差点部(単位:m)



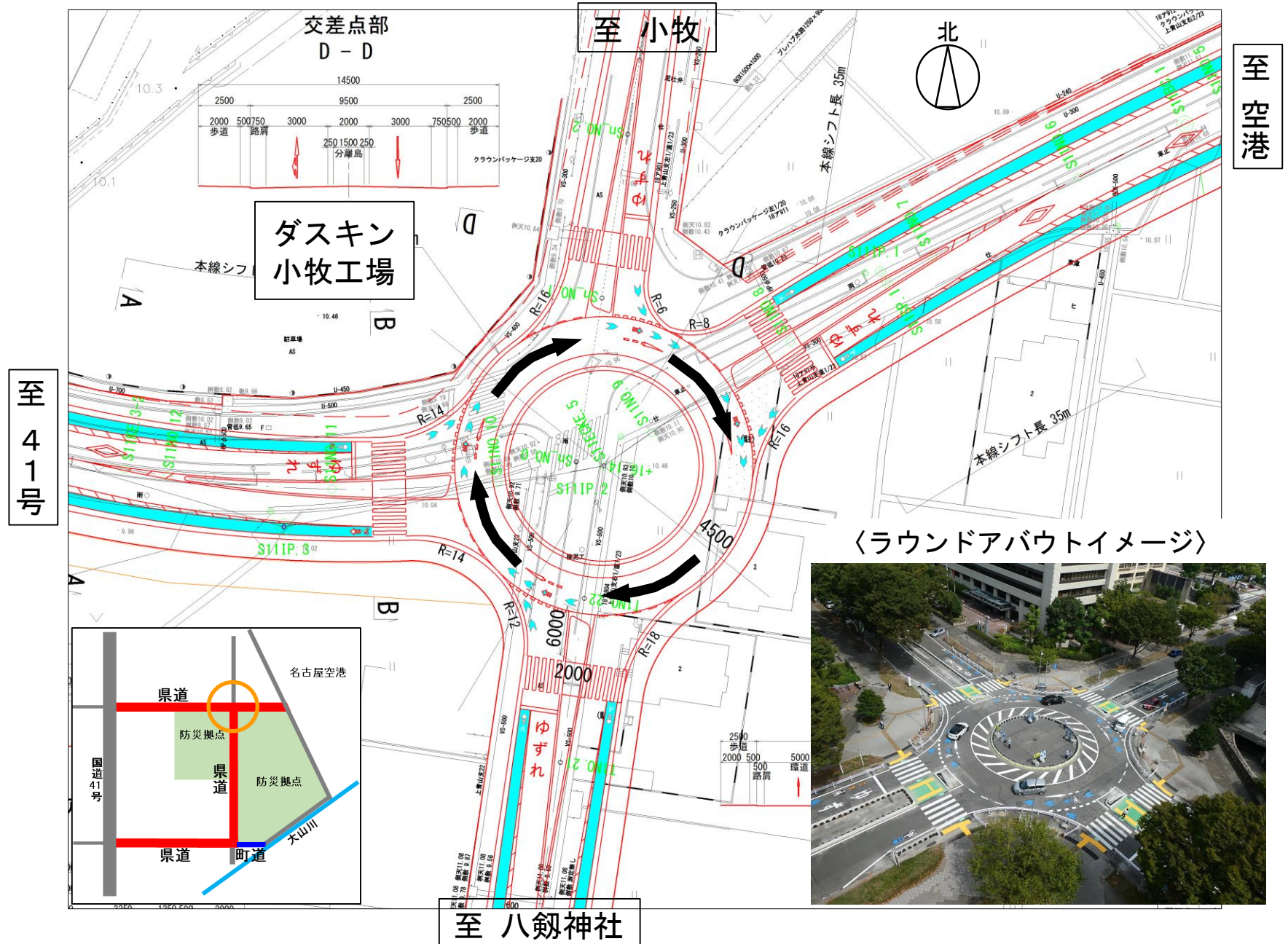
3) 県道 小牧岩倉一宮線



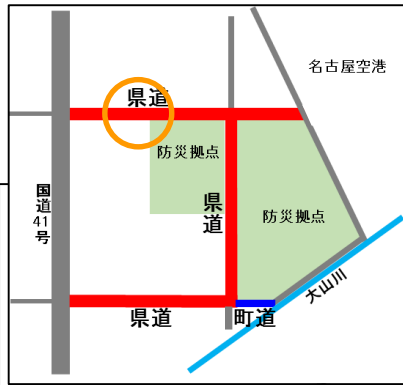
3) 国道41号×小牧岩倉一宮線 交差点



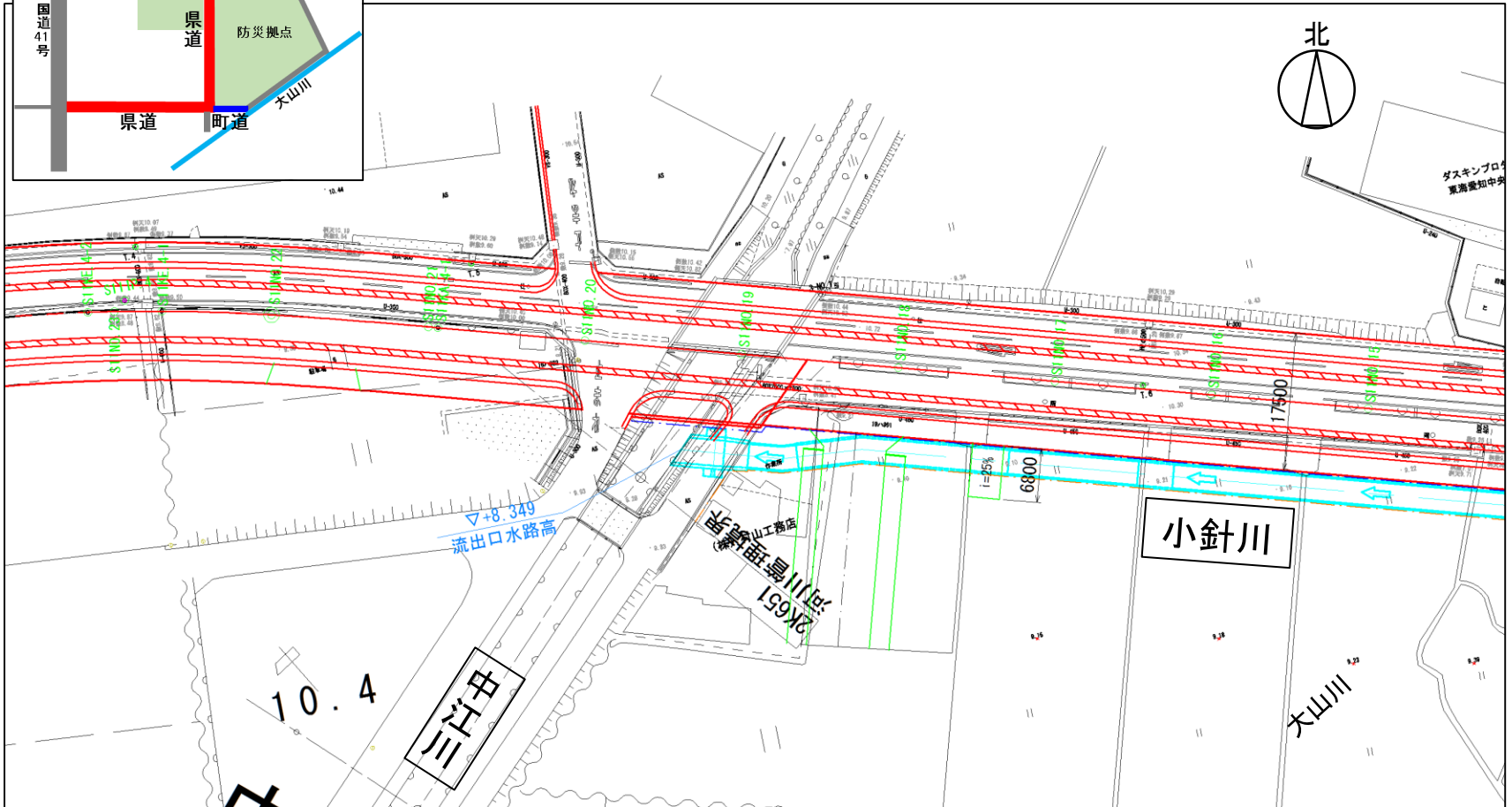
3)小牧岩倉一宮線×春日小牧線 交差点(ダスキン前)



3) 県道 小牧岩倉一宮線(河川部)

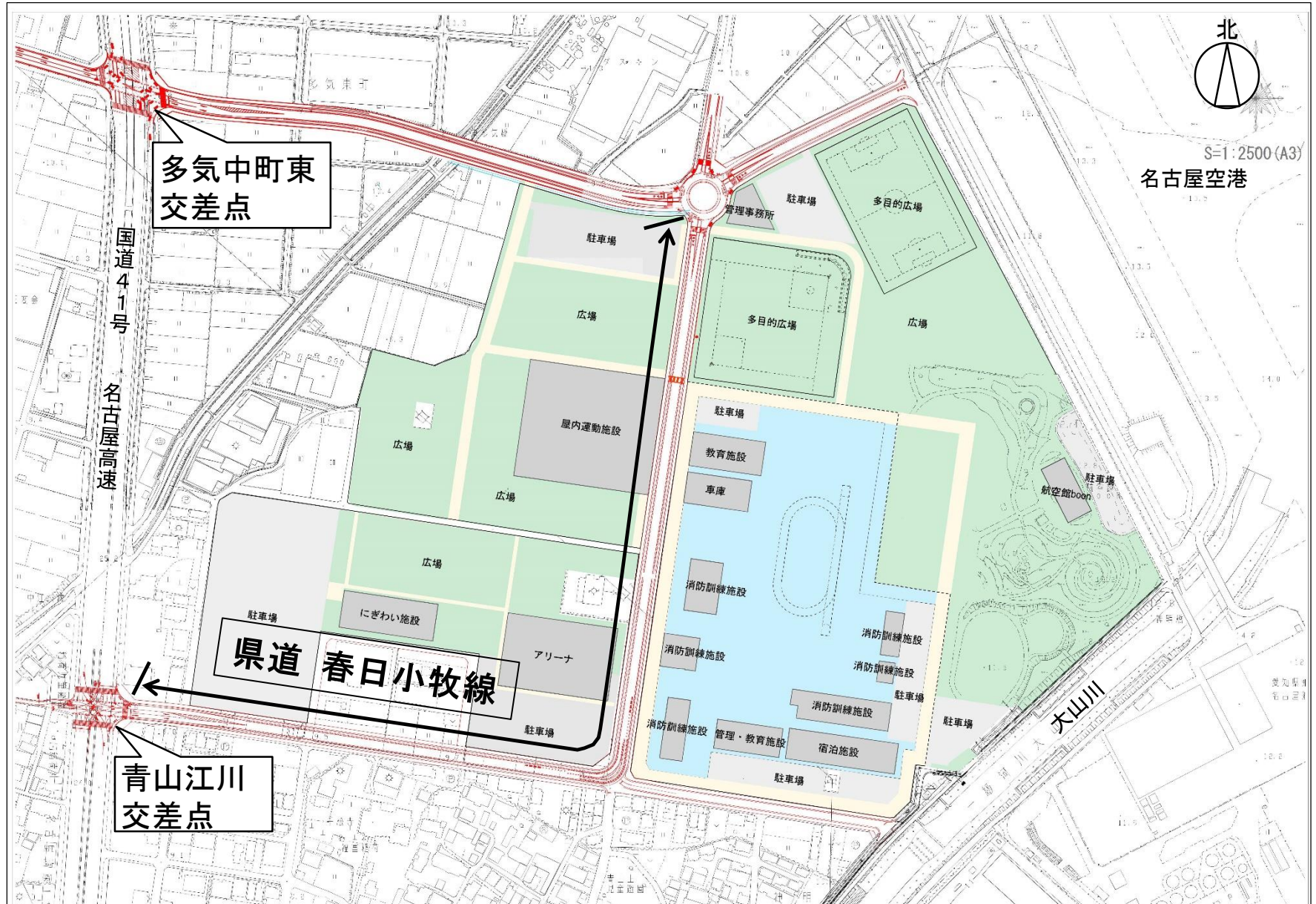


至
4
1
号

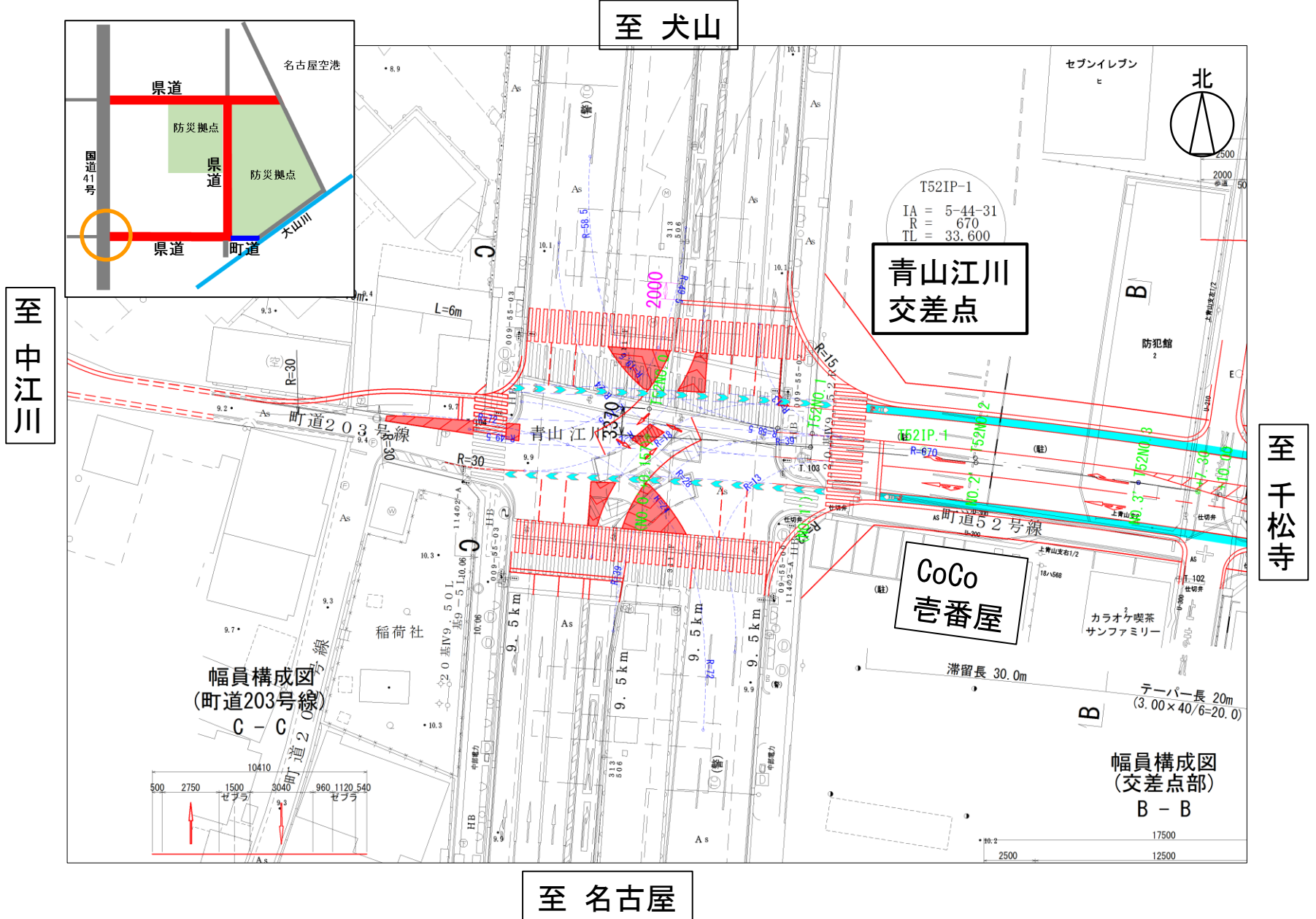


至
空
港

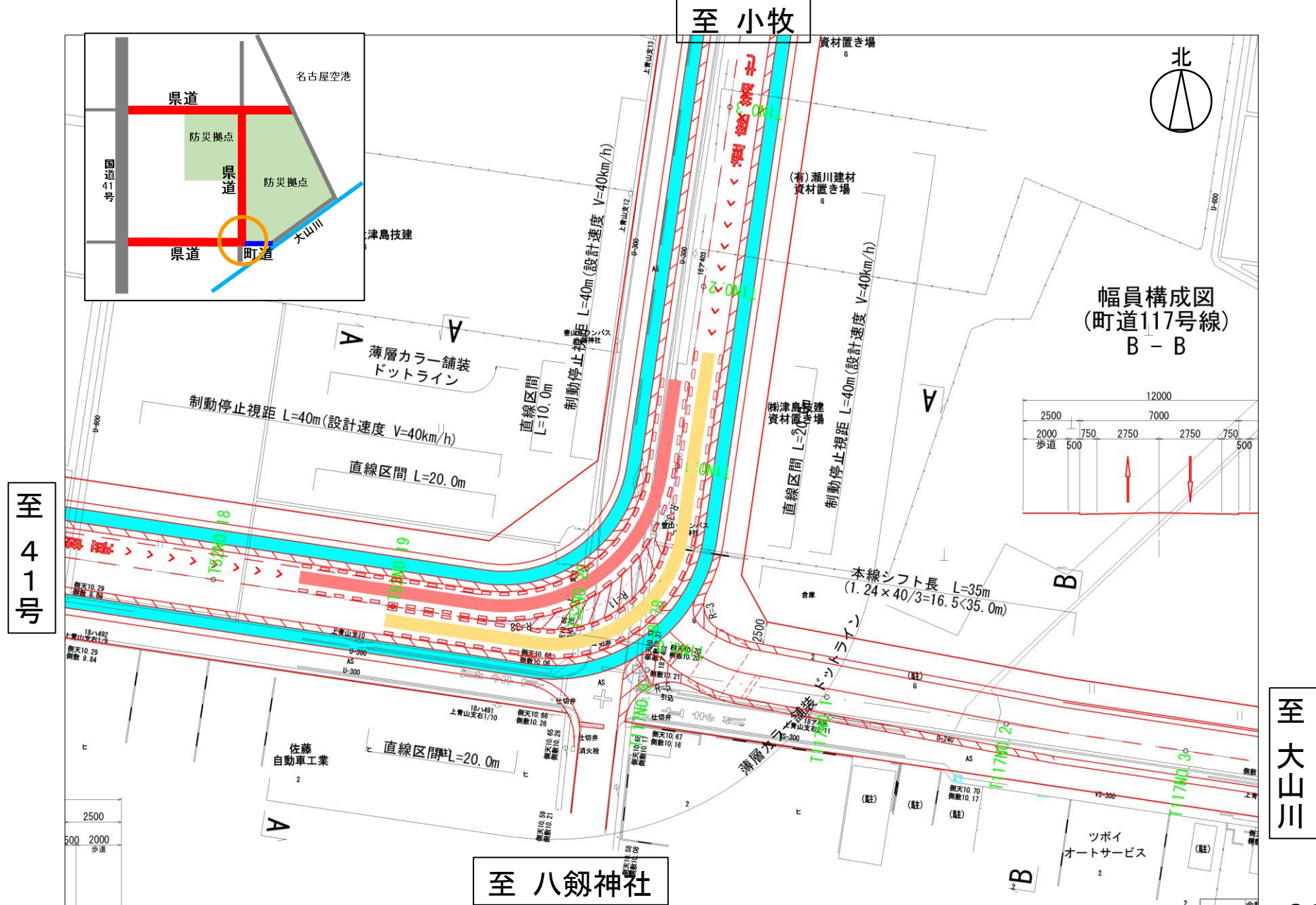
4) 県道 春日小牧線



4) 国道41号×春日小牧線 交差点



4) 春日小牧線 × 町道1号 × 町道117号交差点(現点滅信号)



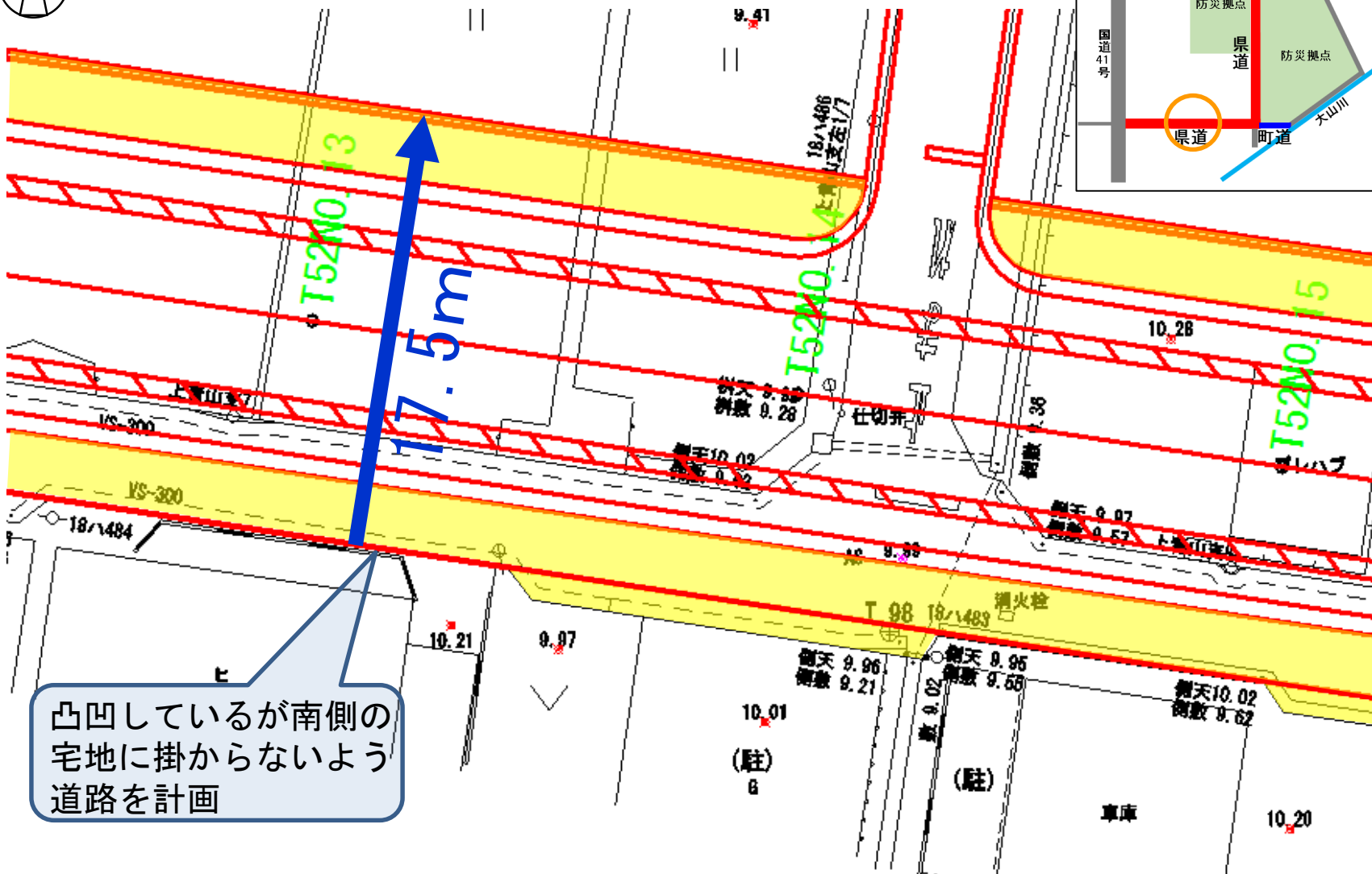
至 大山川

4) 県道 春日小牧線(道路端部の考え方)



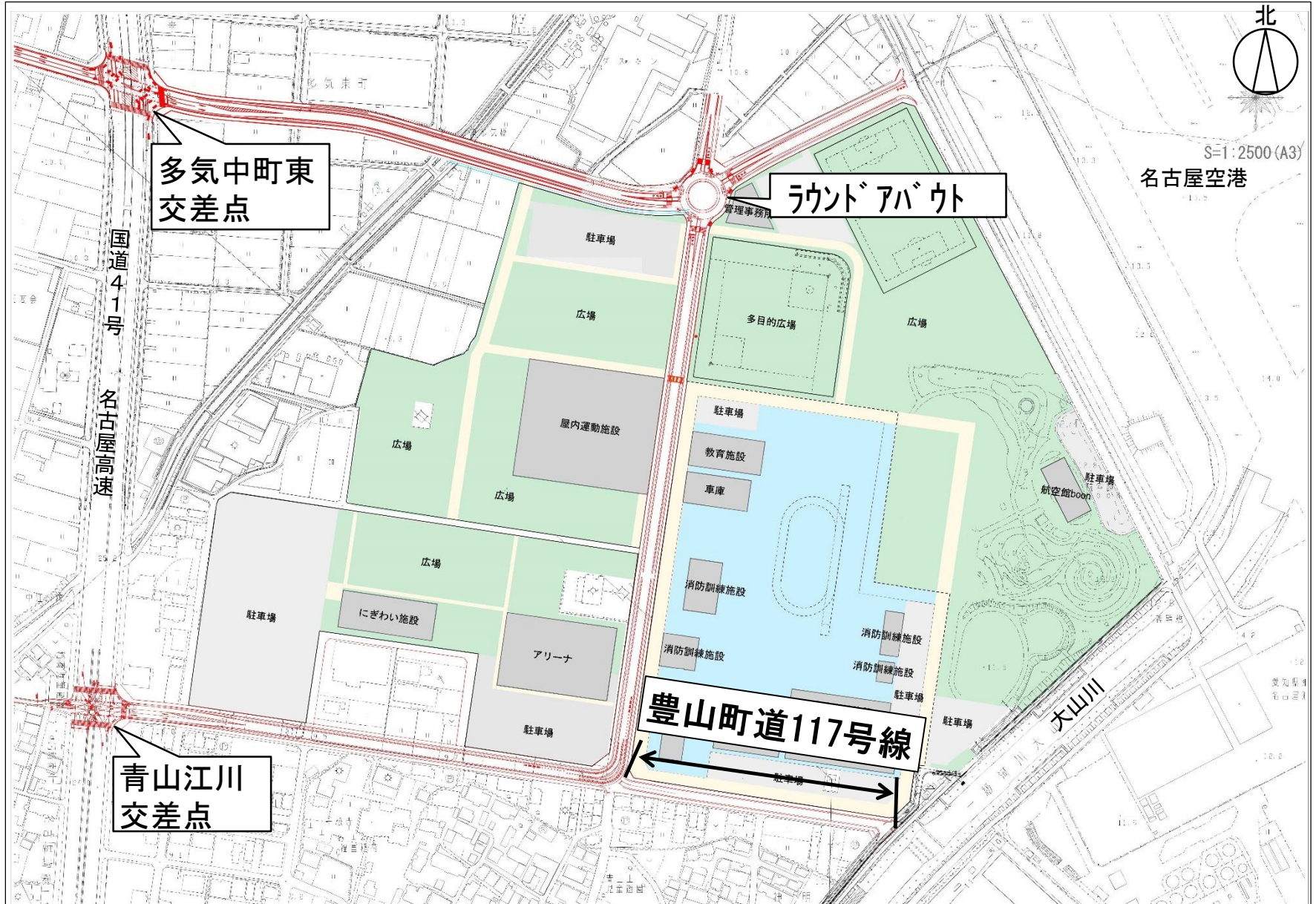
至 41号

至 大山川



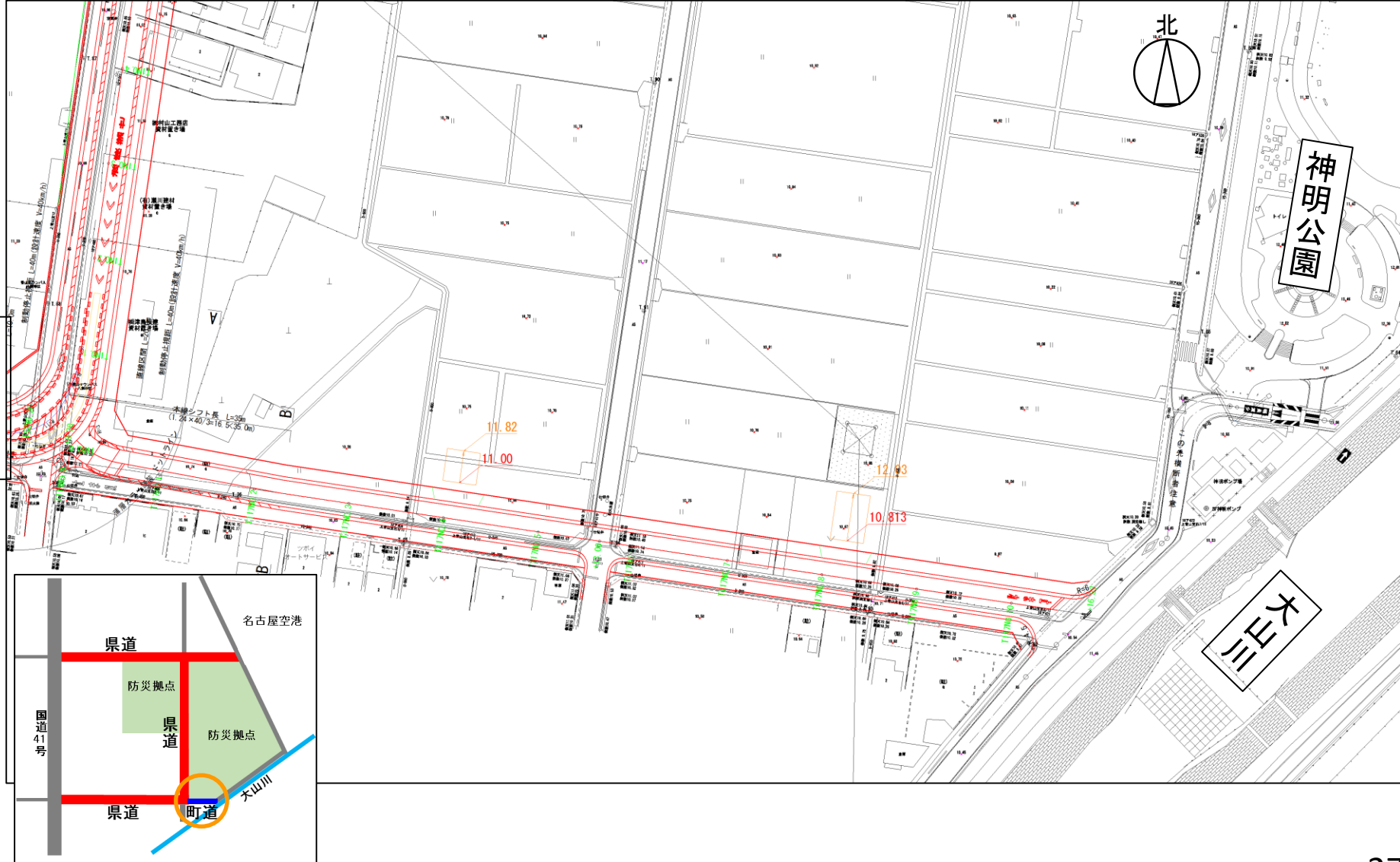
凸凹しているが南側の宅地に掛からないよう道路を計画

5)豊山町道117号線



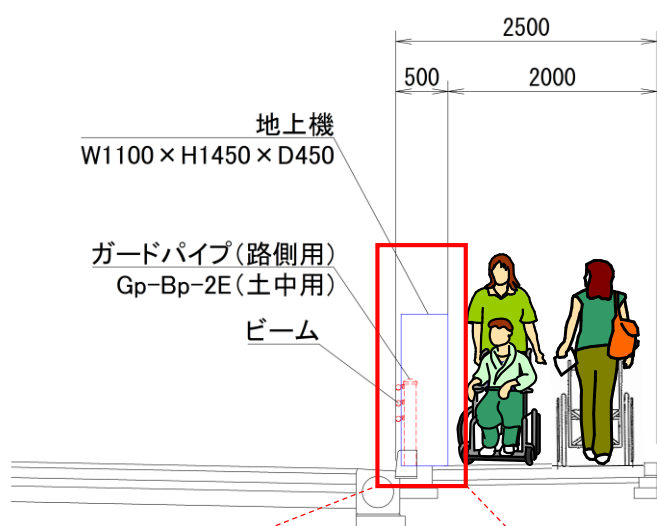
5)豊山町道117号線(平面図)

至 小牧



6)無電柱化について

電柱の倒壊により、救助部隊や支援物資運搬車両が通行できなくなることを防ぐため、小牧岩倉一宮線・春日小牧線・町道117号線の無電柱化を実施します。



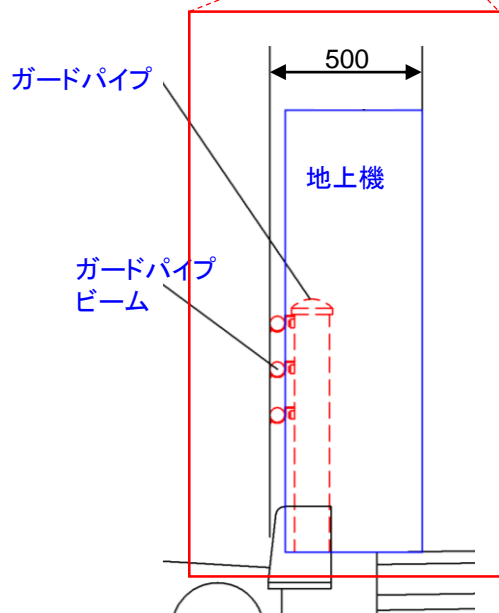
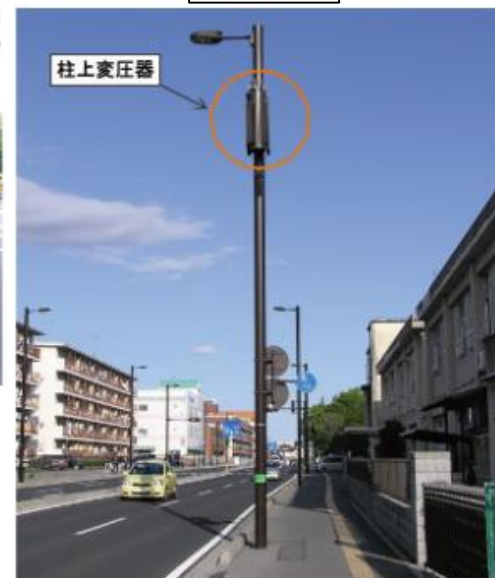
地上機の大きさ(例)



公園内への設置



柱上変圧器



写真・画像出典:国土交通省ウェブサイト

7)歩道形式及び乗り入れについて

歩道形式：セミフラット式歩道

段差が少なく、車いすや杖利用者、高齢者や子供など誰もが通行しやすい歩道形式として、セミフラット式歩道とします。



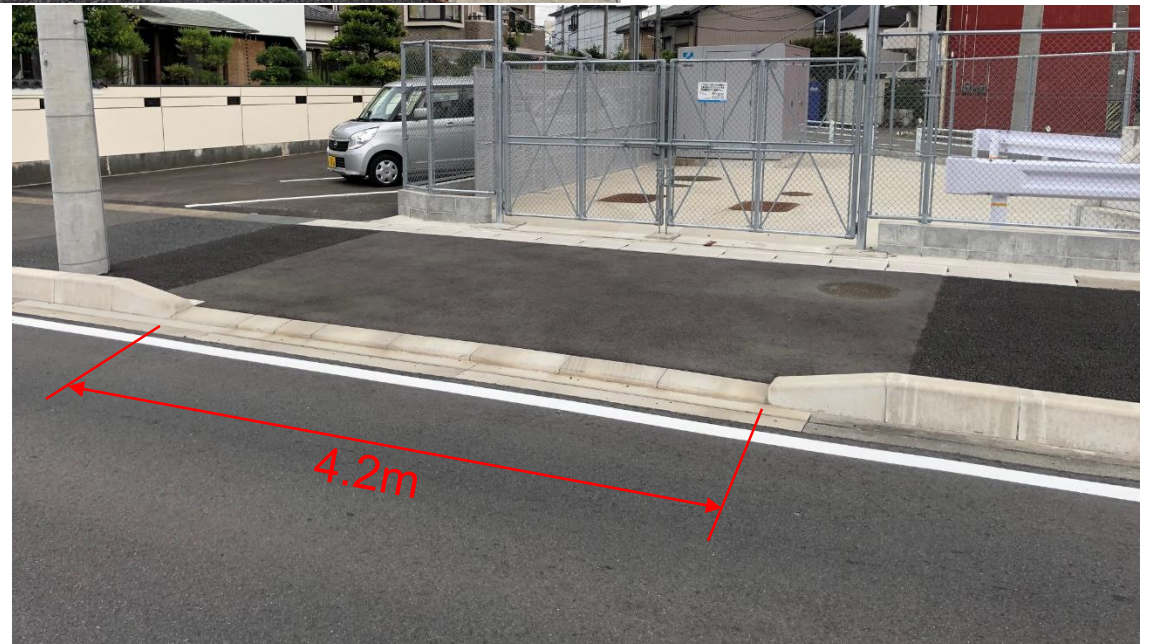
7)歩道形式及び乗り入れについて



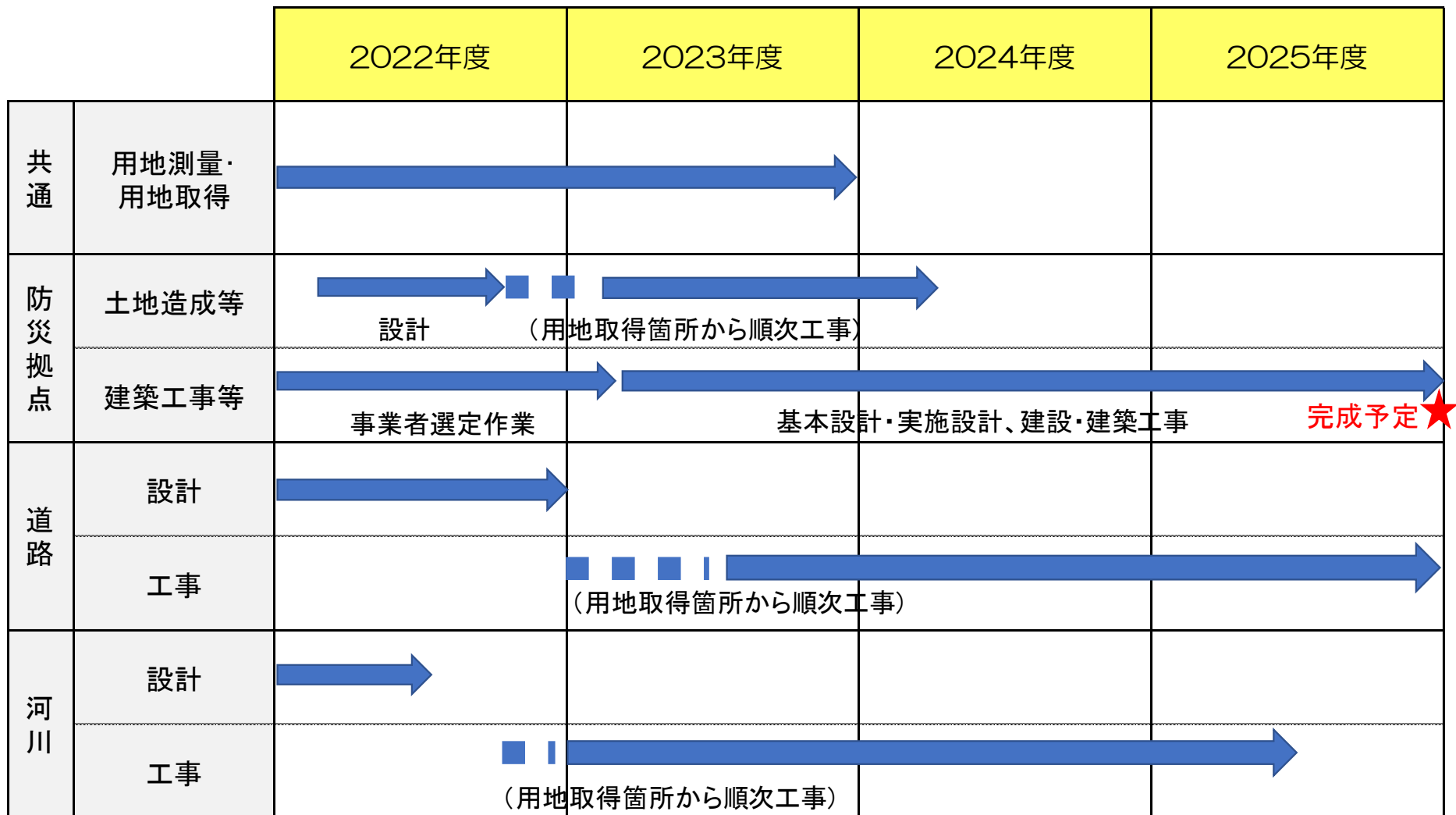
[参考写真]

県道 給父西枇杷島線
(清須市西枇杷島町)

【乗り入れの設置について】
道路工事施工時に現場にて、
個別に位置などを相談しながら
決定します。



8) 今後の事業スケジュール



質疑応答